



# 2023 会 告 No.3

◇通知・案内事項

- 化学工学会第88年会 概要……………本号4ページ
- International Chemical Engineering Symposia 2023 (IChES 2023) 概要……………本号9ページ

◇本部・支部大会行事の開催予定

	(2023)
◇年会	3/15～17(東京農工大学)
◇秋季大会	9/11～13(福岡大学)
◇支部大会	
◇学生発表会	3/4(オンライン)

◇本部・各支部・部会行事 (「ゴシック」は新規掲載分および修正分)

行事プログラムの掲載は1回限りです。既載行事はカレンダー会告ページ(または各支部ホームページ)をご参照下さい。

開催年月日	行 事	申込締切	会 告 ページ
<b>2023年3月 March</b>			
3	第23回プラント保全研究会(広島県/オンライン)		2号9
4	第25回化学工学会学生発表会(オンライン)		2号8
8	第19回キンカ高分子化学研修コース(大阪府)		2号9
10	「業務に基づくプロセス安全マネジメントガイドライン」発刊記念講演会第二弾(オンライン)	3月3日(金)	本号11
14	第24回反好会(反応工学会若手会)講演会(東京都/オンライン)	3月4日(土)	本号11
15～17	化学工学会第88年会(東京都)		本号4
<b>2023年4月 April</b>			
25	オンライン版「化学プラントの装置材料技術」講座(4/25, 27, 28)(オンライン)	4月18日(火) 9:00	2号8
<b>2023年7月 July</b>			
1	第60回化学関連支部合同九州大会(福岡県)	4月13日(木)	本号12

◇国際交流行事

会 期	行 事 名	申込締切	会告ページ
3月15～17日	International Chemical Engineering Symposia 2023 (IChES 2023) (東京都)		本号9
8月14～18日	The 17th International Heat Transfer Conference (IHTC-17) (第17回国際伝熱会議)(Cape Town, South Africa)		10号12

◇共 催・協 賛 行 事(本カレンダーのみのご案内です。詳細は各問合せ先へ直接ご照会下さい。「ゴシック」は新規掲載分)

行 事(場 所)	開催期日	問合せ先	電話番号(FAX) E-mail, URL
2022年度化学人材育成プログラム(東京都ほか)	2022年4月1日～ 2023年3月31日 (金～金)	一般社団法人日本 化学工業協会	03-3297-2578 (03-3297-2606) jinzai_ikusei@jcia-net.or.jp <a href="https://www.nikkakyo.org/Jinzai_ikuseiProg/index.html">https://www.nikkakyo.org/Jinzai_ikuseiProg/index.html</a>
2022年度 技術英語能力検定(技術英検)(東京都ほか)	2022年4月1日～ 2023年3月31日 (金～金)	公益社団法人日本 技術英語協会	03-3434-2350 info@jstc.jp <a href="https://jstc.jp/exam/examination/">https://jstc.jp/exam/examination/</a>



22-1 高分子と水・分離に関する研究会 2022年度界面動電現象研究会(オンライン)	3月3日(金)	高分子学会 高分子と水・分離に関する研究会	029-853-4645 info-colloid@ml.cc.tsukuba.ac.jp <a href="https://main.spsj.or.jp/c12/gyoji/water.php">https://main.spsj.or.jp/c12/gyoji/water.php</a>
第195回腐食防食シンポジウム(東京都)	3月3日(金)	公益社団法人腐食防食学会	03-3815-1161 ysm.hng-113-0033@jcorr.or.jp <a href="https://www.jcorr.or.jp/yotei/195.html">https://www.jcorr.or.jp/yotei/195.html</a>
第4回世界エンジニアリングデー記念シンポジウム(オンライン)	3月4日(土)	日本工学会	03-6265-0672 (03-6265-0673) eng@jfes.or.jp <a href="https://www.jfes.or.jp/">https://www.jfes.or.jp/</a>
第15回先進プラズマ科学と窒化物及びナノ材料への応用に関する国際シンポジウム/第16回プラズマナノ科学技術国際会議(ISPlasma2023/IC-PLANTS2023)(岐阜県)	3月5~9日(日~木)	公益社団法人 応用物理学会	052-581-3241 (052-581-5585) isplasma2023@intergroup.co.jp <a href="http://www.isplasma.jp/">http://www.isplasma.jp/</a>
生産システム部門研究発表講演会 2023(福岡県)	3月6~7日(月~火)	一般社団法人日本機械学会	03-4335-7615 hashiguchi@jsme.or.jp <a href="https://www.jsme.or.jp/event/23-10/">https://www.jsme.or.jp/event/23-10/</a>
第16回日本化学連合シンポジウム「with コロナ時代における化学への期待」(オンライン)	3月7日(火)	日本化学連合	03-3292-6010 (03-5577-3235) secretariat@jucst.org <a href="https://www.jucst.org/">https://www.jucst.org/</a>
圧力設備の溶接設計施工テキスト講習会(東京都/オンライン)	3月8日(水)	日本溶接協会	03-5823-6324 (03-5823-5244) yusuke_yamaide@jwes.or.jp <a href="http://www.jwes.or.jp/mt/kenkyu/cp/archives/2022/12/post_15.html">http://www.jwes.or.jp/mt/kenkyu/cp/archives/2022/12/post_15.html</a>
日本膜学会講演会~2050年カーボンニュートラルに向けた二酸化炭素分離膜の最新動向~(オンライン)	3月13日(月)	日本膜学会	03-3815-2818 (03-3815-2818) membrane@mua.biglobe.ne.jp <a href="http://www.maku-jp.org/international/kouenkai.html">http://www.maku-jp.org/international/kouenkai.html</a>
第37回エレクトロニクス実装学会 春季講演大会(神奈川県)	3月13~15日(月~水)	一般社団法人 エレクトロニクス実装学会	03-5310-2010 (03-5310-2011) taikai37@jiep.or.jp <a href="https://jiep.or.jp/event/convention/jiep2023s/summary/index.php">https://jiep.or.jp/event/convention/jiep2023s/summary/index.php</a>
コロイド先端技術講座 ソフトマターの「液液」相分離(東京都)	3月16日(木)	日本化学会 コロイドおよび界面化学部会	03-3292-6163 jigyokikaku_02@colloid.csj.jp <a href="https://colloid.csj.jp/form/view.php?id=24051">https://colloid.csj.jp/form/view.php?id=24051</a>
第131回触媒討論会 特別シンポジウム(神奈川県)	3月17日(金)	触媒学会	03-3291-8224 (03-3291-8225) catsj@pb3.so-net.ne.jp <a href="https://catsj131.infotecs.jp/index">https://catsj131.infotecs.jp/index</a>
2022年度第3回晶析分科会(東京都)	3月17日(金)	日本粉体工業技術協会晶析分科会	0561-34-4995 crystallization@n.noritake.co.jp <a href="https://appie.or.jp/wp-content/uploads/2022/12/220317shoseki.pdf">https://appie.or.jp/wp-content/uploads/2022/12/220317shoseki.pdf</a>
表面科学セミナー 2023(実践編) マテリアルインフォマティクスの基礎と情報科学を用いた実験データ解析(東京都/オンライン)	3月20日(月)	日本表面真空学会	03-3812-0266 (03-3812-2897) office@jvss.jp <a href="https://www.jvss.jp/jpn/activities/06/detail.php?eid=00015">https://www.jvss.jp/jpn/activities/06/detail.php?eid=00015</a>
[講習会]機械学習×熱・流体工学の最先端(オンライン)	3月24日(金)	一般社団法人 日本機械学会	03-4335-7612 (03-4335-7618) miyata@jsme.or.jp <a href="https://www.jsme.or.jp/event/23-20/">https://www.jsme.or.jp/event/23-20/</a>
周南コンビナート脱炭素推進協議会主催シンポジウム「周南から発信する未来のカーボンニュートラル社会」(山口県)	3月25日(土)	周南コンビナート脱炭素推進協議会	0834-22-8837 (0834-22-8357) scej.cn2050@scej.org <a href="https://www.city.shunan.lg.jp/soshiki/32/93519.html">https://www.city.shunan.lg.jp/soshiki/32/93519.html</a>

第56回空気調和・冷凍連合講演会(東京都)	3月27～28日 (月～火)	一般社団法人日本機械学会	03-4335-7615 3rengo-56@jsme.or.jp <a href="https://www.jsme.or.jp/event/23-6/">https://www.jsme.or.jp/event/23-6/</a>
腐食防食部門委員会 第347回例会(大阪府)	3月30日(木)	日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimu@office.jsms.jp <a href="https://www.jsms.jp/">https://www.jsms.jp/</a>
混相流国際会議2023(兵庫県)	4月2～7日(日～金)	日本混相流学会	06-6466-1588 (06-6463-2522) office@jsmf.gr.jp <a href="http://www.jsmf.gr.jp/icmf2022">http://www.jsmf.gr.jp/icmf2022</a>
第40回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会(東京都)	4月18～19日 (火～水)	公益社団法人日本空気清浄協会	03-3665-5591 (03-3665-5593) jaca@jaca-1963.or.jp <a href="https://www.jaca-1963.or.jp">https://www.jaca-1963.or.jp</a>
酵素工学会第89回講演会(京都府)	4月21日(金)	酵素工学会	075-753-6462 (075-753-6462) enzyme.engsee@gmail.com <a href="https://www.enzyme-eng.com/">https://www.enzyme-eng.com/</a>
第60回日本伝熱シンポジウム(福岡県)	5月25～27日 (木～土)	公益社団法人日本伝熱学会	092-802-3016 (092-802-3017) symp2023@htsj-conf.org <a href="https://htsj-conf.org/symp2023/index.html">https://htsj-conf.org/symp2023/index.html</a>
第8回マルチスケール材料力学シンポジウム(茨城県)	5月28日(日)	日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimu@office.jsms.jp <a href="https://www.jsms.jp/">https://www.jsms.jp/</a>
第28回 計算工学講演会(茨城県)	5月31日～6月2日 (水～金)	日本計算工学会	03-3868-8957 (03-3868-8957) conf.office@jsces.org <a href="https://www.jsces.org/koenkai/28/">https://www.jsces.org/koenkai/28/</a>
第60回アイソトープ・放射線研究発表会(東京都)	7月5～7日(水～金)	日本アイソトープ協会	03-5395-8081 (03-5395-8053) happyokai@jrias.or.jp <a href="https://www.jrias.or.jp/seminar/cat11/">https://www.jrias.or.jp/seminar/cat11/</a>
IFAC World Congress 2023(神奈川県)	7月9～14日 (日～金)	一般社団法人 自動制御協議会/日本学術会議 (IFAC JAPAN NMO) ※申請中	045-221-2155 ifac2023@congre.co.jp <a href="https://www.ifac2023.org/">https://www.ifac2023.org/</a>
International Congress on Membranes & Membrane Processes 2023 (ICOM2023)(千葉県)	7月9～14日 (日～金)	日本膜学会	03-6892-5104 (03-6892-1830) icom_2023@nta.co.jp <a href="http://icom2023.jp/">http://icom2023.jp/</a>
第10回「伝熱工学の基礎」講習会(東京都/オンライン)	7月14日(金)	公益社団法人 日本伝熱学会	078-954-5160 (078-332-2506) basic-lecture2023@pacmice.jp <a href="https://dx-mice.jp/EZEntry/basic-lecture2023/Entry">https://dx-mice.jp/EZEntry/basic-lecture2023/Entry</a>
第33回環境工学総合シンポジウム2023(島根県)	7月25日(火)	一般社団法人日本機械学会	03-4335-7615 kankyosympo2023@jsme.or.jp <a href="https://www.jsme.or.jp/env/symp/index.shtml">https://www.jsme.or.jp/env/symp/index.shtml</a>
環境工学国際ワークショップ2023(島根県)	7月25～28日 (火～金)	一般社団法人日本機械学会	03-4335-7615 env-symp2023@jsme.or.jp <a href="https://www.jsme.or.jp/env/symp/index.shtml">https://www.jsme.or.jp/env/symp/index.shtml</a>
第26回IUPAC化学熱力学国際会議 ICCT-2023(大阪府)	7月30日～8月4日 (日～金)	日本熱測定学会	03-5821-7120 (03-5821-7439) netsu@mbd.nifty.com <a href="https://www.chem.sci.osaka-u.ac.jp/lab/micro/ICCT2023/index.html">https://www.chem.sci.osaka-u.ac.jp/lab/micro/ICCT2023/index.html</a>

第51回可視化情報シンポジウム(北海道)	8月8～10日 (火～木)	一般社団可視化情報学会	03-5993-5020 (03-5993-5026) office@vsj.jp <a href="https://www.vsj.jp/symp2023/">https://www.vsj.jp/symp2023/</a>
日本混相流学会混相流シンポジウム2023(北海道)	8月24～26日 (木～土)	日本混相流学会	06-6466-1588 (06-6463-2522) office@jsmf.gr.jp <a href="http://www.jsmf.gr.jp/mfsymp2023/">http://www.jsmf.gr.jp/mfsymp2023/</a>
第7回ソフトマター国際会議(ISMC2023)(大阪府)	9月4～8日(月～金)	ソフトマター国際会議2023組織委員会	075-383-2661 ryoichi@cheme.kyoto-u.ac.jp <a href="https://ismc2023.jp">https://ismc2023.jp</a>
2023年度工学教育研究講演会(広島県)	9月6～8日(水～金)	日本工学教育協会、中国・四国工学教育協会	03-5442-1021 (03-5442-0241) 2023_jsee_conference@jsee.or.jp <a href="https://confit.atlas.jp/guide/event/jsee2023/top">https://confit.atlas.jp/guide/event/jsee2023/top</a>
PHMAP23 (Asia Pacific Conference of the Prognostics and Health Management Society 2023)(東京都)	9月11～14日 (月～木)	日本航空宇宙学会、PHM Society	075-753-3367 secretariat@phmap.jp <a href="https://phmap.jp/">https://phmap.jp/</a>
Asian Symposium on Contamination Control 2023(石川県)	9月20～22日 (水～金)	公益社団法人日本空気清浄協会	03-3665-5591 (03-3665-5593) ascc2023@jaca-1963.or.jp <a href="https://www.jaca-1963.or.jp/">https://www.jaca-1963.or.jp/</a>
EcoDesign2023国際会議(13th International Symposium on Environmentally Conscious Design and Inverse Manufacturing)(奈良県)	11月29日～ 12月1日(水～金)	エコデザイン学会連合	06-6879-7260 ecodesign2023_secretariat@ecodenet.com <a href="https://ecodenet.com/ed2023/">https://ecodenet.com/ed2023/</a>

## 化学工学会第88年会 概要

- 会 場：東京農工大学 小金井キャンパス  
(〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16)  
※口頭セッションはオンライン参加(発表・聴講)を可能とする予定です。  
ポスターセッションは、オンサイトでの発表となりますが、GOING VIRTUAL上でポスター閲覧と質問の書き込みを可能とする予定です。
- 会 期：2023年3月15日(水)～3月17日(金)  
(特別シンポジウムSP-1は会期前日3月14日(火)開催)
- 懇親会 会 場：中野サンプラザ(〒164-8512 東京都中野区中野4-1-1)  
懇親会 日 時：2023年3月16日(木)19:00～21:00  
参加登録期間：第三期(含む当日) 2023年2月17日(金)～3月17日(金)12:00  
大会WebサイトURL：<http://www3.scej.org/meeting/88a/>  
※参加登録は上記webサイトからのみ受け付けます。(大会会場での参加登録は行いませんのでご注意ください。)

化学工学会第88年会は、2023年3月15日(水)～17日(金)の3日間、東京農工大学 小金井キャンパス(JR中央線東小金井駅より徒歩6～8分)にて開催されます。懇親会も開催を予定しています。

本大会では、参加登録期間が3つあり、それぞれ参加費ならびに支払期限等が異なりますので

ご注意ください。

なお、本大会に参加登録された方は、本大会と同日程で併催される国際会議 International Chemical Engineering Symposia 2023 (ICHES 2023)へもご参加いただけます。

奮ってご参加いただけますよう、よろしくお願いたします。

### 新型コロナウイルス感染症への対応について

本大会は、下表の通りオンサイト開催を基本とし、口頭セッションについてはオンラインでの参加(登壇・聴講)も可能とし、ポスターセッションはオンサイトでの発表となりますが、

GOING VIRTUAL上でポスター閲覧と質問の書き込みを可能とする予定です。

	口頭セッション	ポスターセッション
発表者	オンサイトを基本とするが、オンラインによる発表も可能とする	オンサイトで発表ただし、会期中はGOING VIRTUAL上にもポスターを掲示し、書き込みのあった質疑に対応
聴講者	オンサイトで開催口頭発表をインターネット配信し、オンライン参加を可能とする	オンサイトで開催ただし、ポスター閲覧とGOING VIRTUALで質問の書き込みは可能

ただし、新型コロナウイルス感染症の今後の状況により、「完全オンライン開催」への変更、あるいは一部企画の中止・変更等が発生する可能性があります。なお、第88年会は、「化学工学会本部が主催するイベント開催形態に関するCOVID-19 対応ガイドライン」および「化学工学会本部開催行事におけるCOVID-19 感染拡大防止ガイドライン」に従います。最新情報は大会webサイトをご確認ください。

### 懇親会

中野サンプラザ (JR中央線・東京メトロ東西線中野駅北口すぐ)にて、会期2日目3月16日(木) 19:00～21:00に着座方式、定員制にて開催します。(申込は既に締め切っております。)

### 参加登録方法

大会webサイトからお申込みください。(大会会場での参加登録は行いませんのでご注意ください。)

第三期(含む当日) 2月17日(金)～3月17日(金)12:00まで

### 開会式等

日時 3月15日(水)9:00～12:00  
場所 Y会場

- ◇開会宣言
- ◇名誉会員推戴式
- ◇会長挨拶
- ◇学会表彰等授与式
- ◇学会賞受賞記念講演

### 企画紹介

詳細は、大会webサイトをご覧ください。

### 学会賞等受賞記念講演

◇学会賞(式典で実施)  
Y105(3月15日(水)11:00～11:30)  
【池田亀三郎記念賞】  
微粒子、ナノ粒子の界面構造設計による粒子間相互作用の制御  
(東京農工大学)神谷秀博氏

Y106(3月15日(水)11:30～12:00)  
【池田亀三郎記念賞】  
バイオプロセス革新のための工学的研究  
(千葉大学)関 実氏

◇研究賞(一般研究発表セッションで実施)  
H208(3月16日(木)11:20～11:40)  
【實吉雅郎記念賞】  
粉体・混相流の革新的数値シミュレーション手法の開発と次世代ものづくりへの展開  
(東京大学)酒井幹夫氏  
F112(3月15日(水)12:40～13:00)  
【玉置明善記念賞】  
活性表面を有する固体光触媒の創出と高難度還元反応への応用  
(大阪大学)白石康浩氏・平井隆之氏  
J118(3月15日(水)14:40～15:00)  
【内藤雅喜記念賞】  
微生物接着と革新的固定化微生物プロセスの構築  
(名古屋大学)堀 克敏氏

◇研究奨励賞(一般研究発表セッションで実施)  
H209(3月16日(木)11:40～12:00)  
【實吉雅郎記念賞】  
数値シミュレーションを用いた粉体圧縮プロセスの解析  
(大阪公立大学)大崎修司氏  
F213(3月16日(木)13:00～13:20)  
【玉置明善記念賞】  
燃焼合成法を利用した金属-担体相互作用による新規材料の開発  
(山形大学)藤原 翔氏  
H313(3月17日(金)13:00～13:20)  
【内藤雅喜記念賞】  
食品プロセス強化を目指した流体操作の機能論構築  
(大阪公立大学)増田勇人氏

J113(3月15日(水)13:00～13:20)  
【實吉雅郎記念賞】  
酵素基質特異性の合理的改変による有用化合物生産に関する研究  
(理化学研究所)森裕太郎氏

◇技術賞(産業セッションで実施)  
A212(3月16日(木)12:45～13:05)  
DEMによるセルロース非晶質化予測技術の開発とセルロース乾式非晶化プロセスの工業化  
(花王(株))和田知也氏・大崎和友氏・塩見浩之氏・  
(東北大学)石原真吾氏・加納純也氏  
A213(3月16日(木)13:05～13:25)  
固体高分子形燃料電池のガス拡散層の構造・輸送解析技術  
(株)豊田中央研究所)加藤 悟氏・山口 聡氏・吉宗 航氏・松岡世里子氏・鈴木孝尚氏

◇技術奨励賞(産業セッションで実施)  
A214(3月16日(木)13:25～13:45)  
統計解析、多変量解析、及びシミュレーションに基づく実用的な工程モデルの医薬品製造工程開発への適用  
(第一三共(株))田邊修一氏

◇女性賞(女性技術者フォーラムで実施)  
Y220(3月16日(木)15:20～15:40)  
機能性化学品の実用化～サステナブルな社会づくりに貢献～  
(住友ベークライト(株))沖 博美氏  
Y219(3月16日(木)15:00～15:20)  
女性参画で化学産業が変わる、社会を変える  
(東京大学)辻 佳子氏

◇アジア国際賞(国際シンポジウムで実施)  
C203(3月16日(木)9:40～10:20)  
Solution-Processable Organic Semiconductors for Electronic and Thermoelectric Application  
(National Taiwan University)Cheng-Liang Liu氏

D113(3月15日(水)13:00～13:40)  
Exploring n-best solution space for heat recovery problems via graph-theoretic approach  
(Swinburne University of Technology)  
How Bing Shen氏  
C113(3月15日(水)13:00～13:40)  
Rational Design of Catalytic and Energy Materials: from Computation Modeling to Experimental Validation  
(POSTECH)Jeong Woo Han氏  
C221(3月16日(木)15:40～16:20)  
Biomimetic Formulation Engineering  
(Chinese Academy of Sciences)Wei Wei氏

### 第11回 化学工学ビジョンシンポジウム「エネルギー・資源循環に貢献する化学工学」

日時 3月15日(水)13:00～17:00  
場所 Z会場  
主催 戦略企画会議

2015年は振り返れば環境に関する大きな採択や発表が続いた年で、9月に国連サミットにてSDGs採択、11月に始まったCOPにてパリ協定採択、そして12月にEUがサーキュラー・エコノミーに関する政策パッケージを発表しています。日本でも2020年に日本政府より発表された「2050年カーボンニュートラル」宣言を契機に、経済と環境の好循環に繋げるための日本の新たな成長戦略として、カーボンニュートラルなど環境負荷低減に向けた取り組みが更に活発化し、サーキュラー・エコノミーに対する関心も少しずつ高まってきました。人類のWell-beingの向上、そして経済的成長は人類の疑いのない目標ですが、その課程での環境負荷や資源消費を下げる「デカップリング」の重要性が広く認識されています。しかしながら、資源循環には輸送、回収、そして分離に少なからずエネルギーを要しますので、必ずしもカーボンニュートラルなど環境負荷低減との両立は容易ではありません。その両者のバランスを上手く最適化させ、俯瞰的に環境負荷や資源消費のデカップリングを達成することは、まさにシステム的思考を有する化学工学分野の出番であると考えられます。そこで本セッションでは、広くサーキュラー・エコノミーや資源循環、そしてそのために必要なエネルギー供給に対する取り組み例を紹介し、化学工学分野への期待を改めて議論します。多様な皆様の議論への参加と議論を期待します。

Z113(13:00～13:30)  
[招待講演] NEDOにおける資源循環技術開発の取り組み  
(新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO))  
河合 駿氏

Z114(13:30～14:00)  
[依頼講演] プラスチック素材のトレーサビリティを可能にする資源循環プラットフォームの市場開発状況について  
(三井化学(株))浜野竜二氏

Z116(14:00～14:30)  
[依頼講演]プラスチック容器包装のリサイクル(プラスチック容器包装リサイクル推進協議会)  
久保直紀氏

Z118(14:40～15:10)  
[依頼講演] レゾナック(旧昭和電工)のプラスチック原料化リサイクルKPR  
(株)レゾナック)栗山常吉氏

Z119(15:10～15:40)  
[依頼講演] JEPLAN(旧日本環境設計)におけるケミカルリサイクリングへの取り組み



(株)JEPLAN)永松茂樹氏  
Z121(15:50～16:20)  
[招待講演] 日本の水素・燃料電池関連の最新の取り組み状況  
(みずほリサーチ&テクノロジーズ(株))  
米田雅一氏・山口優太氏  
Z123(16:20～17:00)  
[招待講演] How is Germany preparing for the hydrogen economy? - An overview of public research projects  
(ドイツ化学工学バイオ学会)Förster Andreas 氏

Z19(15:10～15:40)  
[招待講演] SAFへの期待と課題、国産化への取り組みと製造技術  
(出光興産(株))今井博文氏  
Z201(15:40～16:10)  
[依頼講演] 持続可能な森林資源のライフサイクル思考  
(東京大学)鈴木 綾氏・兼松祐一郎氏・兵法 彩氏・菊池康紀氏  
16:10～17:10  
パネル討論  
ファシリテーター：(金沢大学)山田秀尚氏  
パネリスト：ご講演者 および(日揮ホールディングス(株))植村文香氏  
17:10～17:20  
開会挨拶

(住友商事(株))鎌北雛乃氏  
Z220(15:20～15:40)  
[依頼講演] 東北大発革新技術で未利用資源を食品・化粧品・燃料にかえる～資源循環型社会の実現へ～  
(ファイトケミカルプロダクツ(株))加藤牧子氏  
Z221(15:40～16:00)  
[依頼講演] 注射不要の世界を目指して～次世代経皮デリバリー技術～  
(NOVIGO Pharma(株))後藤雅宏氏  
Z222(16:00～16:20)  
[依頼講演] 結晶育成技術で安全・安心な水を世界に  
(ヴェルヌクリスタル(株))田中厚志氏  
Z223(16:20～16:40)  
[依頼講演] 秒速蓄電デバイスで実現するスマート社会  
(株)マテリアルイノベーションつくば)  
唐 捷氏  
16:40～17:40  
パネルディスカッション：社会実装を進める選択肢としてのスタートアップと化学工学分野の可能性  
司会：(信州大学)古山通久氏

**特別シンポジウム**  
「2050年 カーボンニュートラルへの道」  
(一般公開企画)

日時 3月14日(火)13:00～17:20[会期前日]  
場所 Z会場  
主催 (公社)化学工学会、地域連携カーボンニュートラル推進委員会、戦略推進センター・次世代エネルギー社会検討委員会/CCUS検討委員会/社会実装学研究会  
共催 戦略推進センター・SDGs検討委員会、(一社)触媒学会  
協賛 住友化学(株)、東ソー(株)、日本ゼオン(株)、(株)トクヤマ、出光興産(株)、日揮ホールディングス(株)、三井化学(株)、(株)IHI、アサヒクオリティードイノベーションズ(株)、(株)カネカ  
後援 (公社)日本工学会、(公社)日本工学アカデミー、環境省、林野庁

カーボンニュートラルの達成のためには、どんな社会にすべきかを検討・設計し、必要なプロセスを想定し、適切な要素技術を求めていく必要であります。化学工学会では地域産業および地域コミュニティとの連携強化により具体的なケーススタディ、カーボンニュートラルに必要な技術や学問体系の展開・深化の検討を進めております。

2020年3月以降、年会、秋季大会ごとに開催しております本シンポジウムですが、今回も、エネルギー・環境イノベーションとその社会実装について、会期前日の3月14日午後、招待講演、依頼講演、パネルディスカッションを実施いたします。炭素源として、廃棄物、森林バイオマス、CO<sub>2</sub>がございましたが、それらを化学品や燃料転換していく上で、地域、日本、地球全体をバウンダリと設定した場合に、どのように最適化していくべきかを議論していきたいと思っております。

なお、会期中、各講演に対する双方向のコメントのやりとりも可能です。参加費無料の一般公開シンポジウムとなりますので、化学工学が挑む未来社会について多くの皆様と共に語り、この活動を通じて学会全体の分野融合研究の推進と学術の発展に貢献することを期待しています。

Z13(13:00～13:20)  
[依頼講演] 持続可能な炭素循環型社会を目指して  
(東京大学)辻 佳子氏  
A014(13:20～13:50)  
[招待講演] 広島県における産学官連携によるCCUの取組について  
(広島県)諏訪 努氏  
Z15(13:50～14:20)  
[依頼講演] リサイクル困難な廃棄物の熱源・炭素源としてのコンビナートでの高効率利用  
(国立環境研究所)藤井 実氏  
Z17(14:20～14:50)  
[依頼講演] 炭酸塩鉱物化による二酸化炭素の有効利用・固定化技術  
(東北大学)飯塚 淳氏

**特別シンポジウム**  
「化学工学分野におけるスタートアップの可能性」  
(一般公開企画)

日時 3月16日(木)13:00～17:40  
場所 Z会場  
共催 早稲田大学理工学術院総合研究所

持続的な経済成長の推進役として、スタートアップに掛かる期待は大きい。政府は2022年を「スタートアップ創出元年」と位置付け、年末までに5か年計画をまとめ、イノベーションの鍵となるスタートアップを5年で10倍に増やすと宣言しました。岸田総理は7月には、長野県軽井沢町で行われた経団連の会合で講演し、起業や新たな事業の立ち上げ、いわゆる「スタートアップ」への支援を強化するため、新たに「スタートアップ担当大臣」を任命する考えを表明しました。

このような中、IT技術を活用するテック系スタートアップだけでなく、社会の根深い課題を先端的な技術で解決するディープテックスタートアップに対する期待が高まっています。通常のスタートアップは数ヶ月の開発サイクルで数年での上市、5年程度でのIPOやM&Aでのエグジットを目指します。これに対してディープテックスタートアップは、製品上市まで長期間が必要となり、開発に必要な資本も一桁以上大きく、研究開発人材と経営人材のミスマッチ、研究開発人材と出資者とのディスコミュニケーション、など様々な課題に直面します。

ディープテックのシーズを持つアカデミアの人材の集まる場である化学工学会の立場から、スタートアップを創出し、社会を変えていく可能性について議論すべく本シンポジウムを企画いたしました。

13:00～13:10  
趣旨説明  
(信州大学)古山通久氏  
Z214(13:10～13:40)  
[招待講演] 我が国のディープテック・スタートアップエコシステム構築に向けた挑戦  
(株)日本総合研究所)東 博暢氏  
Z215(13:40～14:10)  
[招待講演] 日本のディープテックスタートアップの可能性  
(Plug and Play Japan(株))新井成実氏・大久保迅太氏  
Z216(14:10～14:40)  
[招待講演] つくばにおけるスタートアップエコシステム  
(つくば市)屋代知行氏  
Z217(14:40～15:10)  
[招待講演] 住友商事が挑戦するオープン・イノベーション・ラボ「MIRAI LAB PALETTE」

**特別シンポジウム**  
「SDGs達成に向けた札幌宣言の実行～ありたい未来社会のための化学工学会～」

日時 3月17日(金)13:00～17:00  
場所 X会場  
主催 戦略推進センター・SDGs検討委員会  
共催 地域連携カーボンニュートラル推進委員会、男女共同参画委員会  
協賛 (一社)日本化学工業協会、(公社)新化学技術推進協会  
後援 日本学術会議

化学工学会では、2019年9月に札幌で開催されたAPCCHE2019において『国連持続可能な開発目標(SDGs)に関する宣言～人々の「健康、安心、幸福」のための化学工学会～」と題する札幌宣言を発表しました。SDGsを共有ビジョンとし、EfficiencyからSufficiencyへ、効率性を追い求める社会から充足性を感じられる社会への変革に向けて、化学工学者が、化学工学と関連する技術の進歩を通して、人々のウェルビーイングの推進へ貢献することを第一の目的とします。

この札幌宣言の実現に向けて、これまでの秋季大会や年会において「多様な分野の協働で実現するサーキュラーエコノミー」「安全な水への化学工学の貢献」、そして「多様な人材が活躍する未来の化学工場」といった宣言に含まれる内容に関連したテーマでシンポジウムを開催し、全員参加型のグループ討議も行い、学会内外の方々と議論を深めてきました。

今回の年会シンポジウムでは、札幌宣言の共有ビジョンである「EfficiencyからSufficiencyへ、効率性を追い求める社会から充足性を感じられる社会への変革」について、SDGs検討委員会のメンバーで取り組んだ活動の成果をテーマとして取り上げます。活動の成果は、具体的には①EfficiencyとSufficiencyは対立する概念ではなく、Efficiency+Sufficiencyであること。②技術者は「ユーザー(=社会の構成員)と一緒に社会づくりを進めている」認識が必要であり、③地域毎に何を必要としているか(解決すべき社会課題)を勘案して、それに対して「既存の技術が適合するか」、「適合技術が無いならどんな技術が必要なのか」を考えることが重要であることを基本コンセプトとしてまとめました。得られた基本コンセプトを題材に、他分野の人と議論し意見や考え方を融合して、札幌宣言の共有ビジョンを具

現代化「ありたい未来社会のための化学工学」への道を探ることを目的とします。

13:00～13:05

開会挨拶

(早稲田大学)野田 優 氏

X313(13:05～13:30)

[依頼講演] 効率性と充足性を共に確保する研究開発を目指して

(住友化学(株))木村 雅晴 氏

X314(13:30～13:55)

[招待講演]カーボンリサイクル政策について  
(経済産業省 資源エネルギー庁)羽田由美子 氏

X315(13:55～14:20)

[招待講演] 三井化学の組織横断的オープンラボラトリー活動“そざいの魅力ラボ(MOLP®)”～研究者が自ら世の中に問う熱量コミュニケーション～

(三井化学(株))宮下友孝 氏

X317(14:35～15:00)

[展望講演]石油化学からバイオマス化学へ  
(株)三菱総合研究所)小宮山宏 氏

15:00～16:00

グループ討議

16:00～16:30

サマリー

16:30～17:00

ミキサー

## 国際シンポジウム

◇Sustainable Technologies from Various Chemical Reaction Engineering Perspectives

Date/Time Mar. 15(Wed) 12:50～17:10

Room Hall C

Organization Division of Chemical Reaction Engineering

The field of chemical reaction engineering has in common process engineering, the manipulation of chemical reactions, and a variety of technologies are used and studied that are not found in other fields. In order to bring sustainable development to the next generation of chemical engineering, it is necessary to create synergy with these new technologies. In this international symposium, young researchers from Japan and other Asian countries will discuss the future of chemical reaction engineering from the viewpoints of their respective research fields, with "sustainable technology" as the keyword.

◇Recent Developments on Process Systems Engineering

Date/Time Mar. 15(Wed) 12:55～17:20

Room Hall D

Organization Division of Systems, Information and Simulation Technologies

This international session bringing together researchers and practitioners to discuss recent developments on Process Systems Engineering.

◇Organic/Inorganic Thin Film Processing for Applications to Electronic and Energy Devices

Date/Time Mar. 16(Thu) 8:45～12:50

Room Hall C

Organization Division of Materials and Interfaces

This symposium will focus on coating technology and applications. We will invite Prof. Cheng-Liang Liu of National Taiwan University who has won the 2022 SCEJ Award for Outstanding Asian Researcher and Engineer for the keynote lecture of this symposium. We will also invite researchers working on processing of electronic, optoelectronic, and

energy storage devices. Interactive comments on each lecture will be available during the symposium through GOING VIRTUAL. We hope this symposium will be fruitful and contribute to the promotion of interdisciplinary research and academic development in the materials and processing.

◇Biomedical Engineering Challenges toward Intractable Diseases

Date/Time Mar. 16(Thu) 13:20～16:20

Room Hall C

Organization Division of Biochemical Engineering

With the recent development of molecular biology and biotechnology, biomedical engineering has become increasingly important for the treatment of intractable diseases. At this symposium, Prof. Wei Wei, who is the awardee of The SCEJ Award for Outstanding Asian Researcher and Engineer 2022 and has made great contributions to this field, gives a plenary lecture. We also invite active researchers to discuss the current status and future prospects of this field.

◇The 11th Japan-China Symposium on Chemical Engineering

Date/Time Mar. 17(Fri) 10:00～17:00

Room Hall C

Organization China Liaison Committee, Center for International Exchange

Co-organization The Chemical Industry and Engineering Society of China (CIESC)

In this session, new technologies on environmental protection in terms of chemical engineering in Japan and China will be presented.

## 化学産業技術フォーラム

◇化学装置の高経年化と余寿命評価、および補修による寿命延長

日時 3月17日(金)9:40～12:00

場所 Y会場

日本の化学プラントは高経年化が進んでおり、その装置をいかに寿命延長しながらも安全に操業していくかがかざっています。化学装置材料部会で議論してきた材料の余寿命評価と、補修材を利用した寿命延長にかかわる話題を中心に、化学装置の高経年化における問題とその寿命延長に関するシンポジウムを行います。

## 産業セッション

日時 3月16日(木), 17日(金)

◆口頭セッション

◇カーボンニュートラルを目指す化学産業の挑戦—脱化石資源に向けた技術動向

日時 3月16日(木)9:00～12:00

場所 A会場

「2050年カーボンニュートラル」の実現に向けて化学産業界においてはイノベーション創出による課題解決が期待されています。カーボンニュートラルの実現にはLCAの観点からの評価が重要であり、産業界においてもLCA評価が注目されています。本セッションでは、LCAを考慮したカーボンニュートラルについて総論を紹介した後、各社におけるカーボンニュートラルに向けた技術開発・取り組みを紹介します。

◇カーボンニュートラルを目指す化学産業の挑戦—水素社会におけるアンモニアの可能性—

日時 3月16日(木)13:40～17:20

場所 B会場

持続可能な社会の実現に向けて様々な研究開発が行われています。その中で、特にアンモニアは水素キャリアとして、またカーボンフリーの燃料として様々な研究が進んでいます。本セッションではこれらのアンモニアの活用に焦点を当てて、最新動向や研究事例を紹介します。

◇「化学関連産業の経営課題」2050年の化学関連産業を考える～サステナブルからリジェネラティブへ～

日時 3月16日(木)13:45～17:30

場所 A会場

新型コロナウイルスは新自由主義がもたらした「気候変動」と「格差」を浮き彫りにしました。特に世界中で多発する異常気象は、「地球温暖化」への早急な対応が世界中で喫緊の課題となっています。

我が国でも「サステナブル」な社会を目指した経済活動が国を上げて展開されていますが、西欧では「今以上に環境を悪化させない」というサステナブルの考え方を越え、「環境をより良い状態に再生しよう」というリジェネラティブ(リジェネレーション)という考え方が広まっていると言われます。

我が国でも既に「リジェネラティブ(リジェネレーション)」を意識した事業活動の方向に舵を切っている企業もあり、今回のシンポジウムでは、先進事例を参考に化学関連産業の長期ビジョンを議論します。

◇カーボンニュートラルを目指す化学産業の挑戦—水素サプライチェーンの社会実装に向けて—(INCHEM TOKYO2021 フォローアップ トークセッション)

日時 3月17日(金)9:00～12:30

場所 A会場

カーボンニュートラルの実現に向けて、化学産業界は大きな変革が求められています。カーボンニュートラルの実現のためには、化石資源に依存してきたサプライチェーンを持続可能なサプライチェーンへと転換することが必要であり、このことは大きな挑戦であることと同時に、大きなビジネスチャンスでもあります。そこで本セッションでは、先に開催されたINCHEM TOKYO フォローアップ交流会として、「水素サプライチェーンの社会実装」をテーマに最新技術紹介とトークセッションを開催します。

◇活力に溢れ Sustainable な現場力を生み出す DX (デジタルトランスフォーメーション) 活用の取り組み

日時 3月17日(金)10:15～15:40

場所 B会場

日本の化学産業が生産性を高め、活力に溢れ持続可能な社会を実現するためには、DX、AI、IoT、ビッグデータの活用が喫緊の課題となっています。研究開発の現場を含め、生産活動の現場で地道にデータを集め、IT、AI、IoT技術を駆使してそれらを解析し、新製品開発や生産性の向上、改善に結び付ける取り組みについて、本セッションでは口頭発表並びにポスター発表で先端企業のDX活用事例を紹介します。

◇忘れてはいけない単位操作—(持続可能な社会の実現に貢献する分離技術)—

日時 3月17日(金)13:00～15:40

場所 A会場

化学工場のプロセスは、基本的な単位操作の組み合わせです。しかし、現実のプロセスでは教科書に載っている単位操作概論では対応できない事象が数多くあります。そのような中で、各社の対応例や最新技術を紹介していただきます。今回のテーマは多くの基本的な単位操作が含まれる「持続可能な社会の実現に貢献する分離



技術」です。

◆ポスターセッション

◇活力に溢れ Sustainable な現場力を生み出す DX(デジタルトランスフォーメーション)活用の取り組み

◇忘れてはいけない単位操作 — (持続可能な社会の実現に貢献する分離技術) —

日時 3月17日(金)16:00～17:30

場所 Q会場

男女共同参画委員会企画

「女性技術者フォーラム」(一般公開企画)

日時 3月16日(木)13:00～16:40

場所 Y会場

化学工学関連分野で優れた技術や研究業績をあげた女性に贈る女性賞の受賞講演を行います。また、研究開発やマネジメントにおいて第一線で活躍される女性研究者・技術者による招待・依頼講演を行います。それぞれの立場から研究開発現場における仕事の喜びや難しさ、目標などについて伺い、創造的な研究・技術開発の場を如何にしてつくるか、持続可能な社会におけるグローバル人材の育成の視点から皆さんと一緒に考えたいと思います。

戦略推進センター CCUS検討委員会企画

「CCUS検討委員会シンポジウム」

日時 3月17日(金)9:00～12:00

場所 Z会場

温暖化緩和策としてのCCUSの重要性が益々高まる中、3年間のCCUS研究会の活動を経て、2022年10月にCCUS検討委員会が発足しました。第一回シンポジウムでは、本委員会が取り組むCO<sub>2</sub>の分離回収、輸送、利用および貯蔵、すなわちCCUS全体にフォーカスし、早期社会実装に向けた課題と展望について議論します。

「若手研究者が考える未来の化学工学研究」

日時 3月17日(金)13:05～15:55

場所 R会場

気候変動、伝染病、人工知能…と社会はこれまで以上に目まぐるしく変化しています。化学工学は、この変化していく社会の中で今まで以上に必要とされることは間違いないと思います。明るい未来を創っていくためにも化学工学は色々な分野と協力しながら、新しい考え方をどんどん取り入れていくことが必要になると考えます。本シンポジウムでは全国で活躍する様々な分野の若手技術者・研究者をお招きし、ポスター形式でリラックスした雰囲気での紹介や意見交換を行います。このような場は、若手の技術者・研究者同士のコネクションづくりにも役立つ場になることと思います。

熱工学会、エネルギー部会企画  
「熱エネルギー技術の統合によるCO<sub>2</sub>削減への挑戦」

日時 3月15日(水)13:15～16:15

場所 E会場

CO<sub>2</sub>排出量削減の問題からエネルギー創出、利用における様々な研究開発が活発に行われています。エネルギー形態の1つである熱エネルギーは産業、民生において必要不可欠であるものの、貯蔵や輸送が非常に困難であり、低温の熱については利用されことなく捨てられています。このような状況においては熱効率の向上だけではなく、未利用の熱を無駄なく利用する手法やプロセス、またマネージメント技術を開発することもCO<sub>2</sub>排出削減において重要となっています。そこで本シンポジウムでは、サーマルサーキットなどの熱利用プロセスや熱マネージメント技術、高効率熱利用に関するシンポジウムを開催し、熱利用に関する積極的な討論を行います。

「粒子・流体プロセス部会セミナー」

日時 3月15日(水)13:00～16:15

場所 H会場

粒子・流体プロセス部会で、部会賞を受賞された方に講演をしていただきます。

参加登録に関する注意事項

◇大会会場(東京農工大学)ご来場予定の調査について

準備の都合上、参加登録時点における、大会会場(東京農工大学)ご来場予定をお尋ねいたします。見通しで結構ですので、ご協力をお願いします。その後予定が変更になった場合もご連絡は不要です。

◇参加登録期間 第一期、第二期、第三期(含む当日)の違いと注意点

第一期、第二期は2月15日で終了しております。第三期(含む当日)は2月17日～3月17日(金)までwebにてお申込みいただけます。第二期および第三期では同額になります。

なお、第三期参加登録の場合は懇親会および講演プログラム集冊子の申込みができません。また講演要旨集(お申込みいただいた方のみ)のお届けが会期後となります。

第一期、第二期、第三期を跨いだお申込み、お支払はできませんので、ご注意ください。(例:第一期で大会参加のみ登録、第二期で講演要旨集を追加登録、はできません。また、第一期や第二期でお申込みいただいたものの、支払期限日までにお支払いいただけなかった場合、そのお申込みはキャンセルとなります。第三期に改めてお申込み、お支払いください。)

大会会場での参加登録は実施いたしません。第三期の参加登録(オンラインのみ)は会期最終日12:00まで受け付けておりますので、そちらをご利用ください。

◇ご登壇者の参加登録について

ご登壇者(ご招待者を除く)も参加登録が必要です。会期1週間前までに参加登録を済ませますようお願いいたします。なお、名誉会員および依頼講演者の皆様へは別途実行委員会よりご案内いたしますので、そちらに従って手続きをお願いいたします。

◇参加登録時の会員資格チェック(個人会員)について

個人会員の方は、参加登録に先立ち、本年度

年会費の支払い状況を確認いたします。当該webページにアクセスいただくためには会員番号とパスワードが必要ですので、予めご準備ください。参加登録いただく時点で本年度年会費のお支払が確認できない場合は、個人会員資格でのお申し込みはできません。年会費をお支払いただいてからweb上で確認できるまで2週間程度かかりますので、未払いの方は早めにお支払ください。

会員資格ならびに年会費支払い状況に関するお問い合わせは、化学工学会本部(<https://www.scej.org/>)をお願いいたします。

※本大会で登壇される方(名誉会員、招待者、共催学会の個人会員、対象海外学会の個人会員を除く)および参加(聴講のみを含む)する方で会員価格で参加登録される方は、本会2023年度(2023年3月～2024年2月)年会費のお支払いが必要です。ご注意ください。

◇参加登録のキャンセル(返金)について

第三期参加登録は一切のキャンセルならびに返金はできません。予めご了解ください。

なお、参加者の連絡先等の参加者情報(参加者名と参加登録資格(会員種別等)を除く)の変更は、随時参加登録webサイトより実施していただけますが、参加者名と参加登録資格の変更はできませんので、その場合は一度キャンセルしていただき、改めてお申込みいただくことになります。この場合、改めて申込まれた期の料金が適用されますので、ご注意ください。

◇懇親会参加について

懇親会への参加申込みは既に終了しております。ご了承ください。

◇講演プログラム集冊子について

講演プログラム集冊子のお申込みは第二期で締め切っております。講演プログラム集冊子のPDF版を無料公開予定ですので、そちらをご利用ください。

◇講演要旨集について

講演要旨集はUSBメモリとして販売いたします(大会参加者:3,300円/個)。大会参加費には含まれておりませんので、ご注意ください。参加登録時にお申込みいただければ、郵送いたします。ただし、第三期に参加登録をされた方には、大会終了後の発送となります。

なお、講演要旨集のディスクイメージファイルは、講演要旨集USBメモリの購入有無にかかわらず本大会に参加登録された方皆さん(公開企画のみ参加者(無料)を除く)、大会終了から3ヶ月後にWebからダウンロード(無料)いただけます。

大会に参加登録されず講演要旨集のみ購入を希望される場合は、本会会員は12,100円/個(税込・送料込)、本会非会員は23,100円/個(税込・送料込)で販売しております。お申込みは随時大会webより承りますが、現物の発送は大会終了後になります。

◇その他詳細について

大会webサイトをご確認ください。

参加費

大会参加費には、講演プログラム集冊子(別売;受付終了済)や講演要旨集(USBメモリ;別売)は含まれていません。ご注意ください。



大会参加費

会員資格	第三期(2/17~当日)	備考
化学工学会個人会員の方		
正会員	15,000円	不課税
シニア会員	8,000円	
永年会員	7,000円	
教育会員	7,000円	
学生会員	7,000円	
ジュニア会員	7,000円	
海外正会員	15,000円	
海外連携会員	15,000円	
海外学生会員	7,000円	
化学工学会法人会員に属する方・部会に属する方等		
法人会員(*1)に属する社員	18,000円	不課税
懇話会会員	18,000円	
部会個人賛助会員	18,000円	
部会法人賛助会員に属する社員	18,000円	
(*1)維持会員, 特別会員, 特別地区会員		
他学会の個人会員の方等		
共催学会の個人会員	18,000円	課税税込
*2に記す海外学会の個人会員(学生を除く)	15,000円	
*2に記す海外学会の個人会員(学生)	7,000円	
(*2)AIChE:米国化学工学会, CIESC:中国化学工学会, DECHEMA:ドイツ化学工学バイオ学会, IChE:インド化学工学会, KICChE:韓国化学工学会, TwIChE:台湾化学工程學會(略称アルファベット順)		
上記以外の方		
会員外	33,000円	課税税込

問合せ先

◇参加登録およびお支払方法に関するお問合せ  
 京王観光(株)東京第1支店  
 〒160-0022 東京都新宿区新宿2-3-10 新宿御苑ビル2階  
 化学工学会 運営サポートチーム  
 TEL: 03-5312-6540 FAX: 03-5379-0740  
 E-mail: [scej.kta-tyo@keio-kanko.co.jp](mailto:scej.kta-tyo@keio-kanko.co.jp)  
 営業時間 平日 10:00~17:00

◇その他に関するお問合せ  
 化学工学会 第88年会 実行委員会  
 E-mail: [inquiry-88a@www3.scej.org](mailto:inquiry-88a@www3.scej.org)

講演要旨集(USBメモリ)

会員資格	参加登録時同時購入	大会終了後別途購入
本会会員 (個人/法人/部会個人・法人賛助会員)	3,300円/個(税込・送料込)	12,100円/個(税込・送料込)
本会非会員		23,100円/個(税込・送料込)

## International Chemical Engineering Symposia 2023(ICHES 2023) 概要

会 場：(オンサイト)東京農工大学 小金井キャンパス  
 (〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16)  
 ※各セッションともオンラインでも参加(発表・聴講)いただけます。  
 (オンライン)化学工学会オンライン学会サイト GOING VIRTUAL  
[https://goingvirtual.scej.org/web\\_conf](https://goingvirtual.scej.org/web_conf)

会 期：2023年3月15日(水)~3月17日(金)  
 共 催：Asia Pacific Confederation of Chemical Engineering (APCCChE)  
 大会WebサイトURL：<https://scej.org/iches2023/>

International Chemical Engineering Symposia 2023 では、第88年会の一部でもある国際シンポジウムの5つのセッションを3月15日(水)から

17日(金)に、ICHES 2023一般研究発表を3月17日(金)9:00~14:20に行います。  
 詳細は、大会webサイトをご覧ください。

なお、本大会に参加登録された方は、本大会と同日程で併催される第88年会へもご参加いただけます。

## 2023年度化学工学会賞候補者の推薦について

推薦締切 学会賞・研究賞・研究奨励賞・技術賞・技術奨励賞・女性賞・フェロー表彰・教育賞：2023年5月15日  
功労賞：2023年8月31日

2023年度化学工学会賞(学会賞・研究賞・研究奨励賞・技術賞・技術奨励賞・女性賞・功労賞・フェロー表彰)の受賞候補者を会員各位より、下記募集要項をご留意の上ご推薦いただきたく存じます。

(アジア国際賞は、推薦締切が2月15日となり、webサイトにて推薦ご依頼申し上げます。)

なお、推薦方法の詳細及び推薦書はWebサイト(<http://www.scej.org/award/apply.html>)をご参照ください。

## 募集要領

## 1. 対象となる業績と候補者の資格

## A. 学会賞

本会正会員であって、化学工学に関する優れた研究を行い、学術上特に大局的に顕著な業績のあった個人。(ただし、過去に研究賞を受賞した者は受賞してから満5年を経過しないと推薦を受けることはできない。)

## B. 研究賞

本会正会員が行った化学工学に関する新規性に富む優れた研究、もしくは特に完成度の高い優れた研究で、学術論文誌に発表されたもの。ただし、本会誌掲載論文があることが必要。受賞者は個人もしくは3名以内の共同研究者。

## C. 研究奨励賞

2023年4月1日現在において満35歳未満の本会正会員であって、化学工学に関する優れた独創性・萌芽的研究を学術論文誌(本会誌に限らない)またはproceedingsに発表した個人。共同研究の場合は主な研究者1名に適用。

## D. 技術賞

本会正会員あるいは本会維持会員または特別会員である法人に所属する技術者であって、化学工学に関する技術または化学関連産業の技術に関して特に業績のあった個人もしくは5名以内の共同研究・開発者。

## E. 技術奨励賞

2023年4月1日現在において満38歳以下の本会正会員であって、化学工学または関連産業に関わる主として技術上の優れた業績をあげ、学術論文誌、特許、技報などで対外に発表した個人、または本会の年会・秋季大会・支部大会等で発表した個人。共同研究の場合は主な研究者1名に適用。

## F. 女性賞

化学工学または化学関連産業に関わる技術上の優れた業績をあげた、あるいは化学工学に関する優れた研究を行い、かつ男女共同参画推進のための制度や環境の整備に貢献した個人。

## G. 功労賞

## ①教育功労賞

本会正会員に限らず、化学工学およびそれに関連する基礎教育に従事し、教育上顕著な業績または功績のあった個人。本賞は、高校、工業高校、高専、および大学関係者等個人を対象とするが同一業績について3名以内の連名で受賞することができる。

## ②研究功労賞

本会正会員に限らず、化学工業技術に関連

する業務に当たり、装置、器具の開発・改良、特殊技能およびデータの取得・整理などを通して、研究支援に貢献のあった個人。本賞は、高専、大学、および企業関係者等個人を対象とするが、同一業績について3名以内の連名で受賞することができる。

## ③学会活動功労賞

本会正会員、または本部、支部の職員(元職員、嘱託に準ずる者を含む)であって、支部、地区懇話会、あるいは本部の諸委員会での活動、会員増強などの学会活動を通じて、本会の発展に貢献のあった個人。

## ④国際功労賞

本会正会員に限らず、化学工学関係の国際会議等の運営及び海外関連学協会との交流・運営に貢献を行った個人。

## H. フェロー表彰

推薦時に化学工学に20年間以上関わっている正会員である者、あるいは10年以上本会に在籍する正会員(学生会員期間は除く)、および会長が推薦する正会員個人で、化学工学ならびに本会の発展に貢献し、今後も寄与する個人。

## I. 教育賞

本会正会員であって化学工学に関する優れた教育(講義、演習、実験等)を教育機関、産業界あるいは学会で実践している個人もしくは複数の共同実施者に贈与されます。

## 2. 表彰の件数

A. 学会賞	2件以内
B. 研究賞	3件以内
C. 研究奨励賞	5件以内
D. 技術賞	5件以内
E. 技術奨励賞	5件以内
F. 女性賞	2件以内
G. 教育・研究・学会活動・国際功労賞	各2件以内
I. 教育賞	5件以内

## 3. 表彰の内容

A. 学会賞	賞状及び池田賞
B. 研究賞	賞状とメダル
C. 研究奨励賞	賞状とメダル
D. 技術賞	個人に賞状とメダル、代表者の属する法人に記念牌
E. 技術奨励賞	賞状とメダル
F. 女性賞	賞状と記念品
G. 功労賞	賞状と記念品
H. フェロー表彰	化学工学会フェローの称号

## I. 教育賞 賞状と記念品

4. 表彰は、2024年開催の本会表彰式において行う。

## 5. 推薦

(1) 学会賞・研究賞・研究奨励賞は、正会員の推薦による。推薦件数は、各賞につき正会員は1名あたり1件とする。技術賞は、維持会員、特別会員、支部長、部会長または地区懇話会長の推薦による。推薦件数は、法人会員は1件、支部長及び部会長は2件以内、懇話会長は1件とする。技術奨励賞は、維持会員、特別会員、支部長または部会長の推薦による。推薦件数は、法人会員は1件、支部長及び部会長は2件以内とする。女性賞は、維持会員、特別会員、正会員の推薦による。推薦件数は、各会員1件とする。フェロー表彰は、会長、維持会員、支部長、部会長、名誉会員または正会員の推薦による。なお、正会員は3名以上の連名による推薦とする。教育賞は(1)本会正会員、或いは、化学工学系の学科または大学院専攻を取り纏める責任者(学科長/専攻長に相当)の推薦による。

(2) 教育功労賞は、支部長または人材育成センター長の推薦とする。研究功労賞は、維持会員または特別会員の代表者、支部長、または部会長の推薦による。学会活動功労賞及び国際功労賞は、支部長、部会長または常置委員会委員長の推薦による。推薦件数は、各賞とも1件とする。

(3) 本会で定めた推薦方法に従い、本人の了解を得た後、所定の書式による推薦書一式(電子ファイル)をWebサイト(<http://www.scej.org/award/apply.html>)内の推薦要項に従い、本会宛に5月15日までにアップロードして提出してください。

(4) 推薦された候補者は、所定の書式による選考資料一式(電子ファイル)をWebサイト(<http://www.scej.org/award/apply.html>)内の推薦要項に示されている手順に従い、6月30日までにアップロードして提出してください。

## 6. 問合せ先

公益社団法人 化学工学会  
表彰委員会担当  
TEL：03-3943-3527  
E-mail：soumu@scej.org

## 部 会 C T

(公益社団)化学工学会 安全部会  
第二弾 新PSMガイドライン  
発刊記念講演会

主催 (公社)化学工学会 安全部会  
後援 (株)化学工業日報社  
協賛 (NPO法人)安全工学会

日本でも欧米と同等もしくは超える、リスク基準のプロセス安全管理 (Risk Based Process Safety management) を実践したいという希望が複数の企業から出され、そのガイドラインを自分たちで創りたいという声があがった。各企業でも何らかの Safety Management System を構築しているが、日本企業のほとんどが、保安管理システム、レスポンスシブルケア、ISO9001、ISO14001、ISO45001/OSHMS/労働安全衛生マネジメントシステム、OSHA PSM、CCPS RBPS など法制度または世界標準に関わる仕組み等に対応している。複数のマネジメントシステムについて、個別対応している企業もあれば、それらを纏めた統合システムを構築している企業もある。

一度、日本においても Safety Management の全体を描き、何が問題なのか整理するタイミングに入ったと言える。安全部会では、2017年4月から世界に通用するプロセス安全管理のガイドラインを構築するための準備WGを立ち上げ、月1回のペースで意見交換を行い、その成果をテクニカルレポートに著した。更に、2019年10月から当代の産学のエキスパートが結集してガイドラインの在り方について議論を重ね、その枠組みとアプローチについて纏め、この度、新PSMガイドラインとして12月に発刊することとなりました。エンジニアのキャリア育成の観点からも能力向上の一助になればと考えます。自社のシステムと比較して興味あるところをカスタマイズして実装されればと思います。そして産業界全体のレベルアップを図りたいと思います。

12月に計12章の発表が実施され、残り6章について実施します。

日時 2023年3月10日(金)13:30~17:00  
会場 web Teams で開催  
発表40分質疑応答5分の45分構成

## プログラム

- 1)安全工事管理  
石油資源開発(株) 尾藤清貴氏
- 2)訓練・教育管理  
昭和四日市石油(株) 田邊卓也氏
- 3)危機管理  
コスモ石油(株) 中林大樹氏
- 4)サイバーセキュリティ管理  
名古屋工業大学 社会工学科 橋本芳宏 教授

## 5)質疑

下記の2章はオンデマンドで2月24日から3月17日の間、配信されたURLにて視聴できます。2月24日に配信します。

協力会社管理  
事故分析・コミュニケーション研究所 竹内 亮氏  
社会コミュニケーション管理  
南川行動特性研究所 南川忠男氏

## 募集人員 50名

参加費 12月の発刊記念講演会に参加された方は無料(但しお申込みは必要)  
16,500円税込み(参加費に新刊1冊(定価税込み11,000円)込み)

(12月に化学工業日報社から発刊された新PSMガイドライン1冊の代金含む)

無料の方は既に新刊をお持ちですので、送付はございません。

同一事業所から3名以上お申込みの場合、お申込み者1名のPCを会議室でプロジェクターに接続するなどして大勢で視聴できます。お申込み備考欄にその旨記入してください。

ガイドライン冊子はお申込み人数分を代表者に纏めてお送りします。3名の場合税込み49,500円となります。

事前振込制。返金はございませんが代理参加OKです。

発表順番は主催者の都合で変更になることもあります。ご了承下さい。

## 申込方法 安全部会HPの申し込みサイト

<https://scejzenzen.org/main/events/>

問い合わせ先 安全部会事務局(お問い合わせは電子メールのみです。下記URLからメールフォームによりご送信ください)

<https://scejzenzen/main/contact/>

Teams ご案内 3月3日の午前中に主催者より開催のTeamsを送付します。もし届かなかった場合は上記問い合わせ先よりお知らせください。Recordingしますが、アーカイブ配信は致しません。

予稿集の送付 発刊された書籍のその章の内容の発表や解説となります。発表用に作成されたパワーポイントのPDFファイルを開催日の3月3日の午前中に主催者よりクラウドストレージBOXに格納して配布します。

## 企業特設講座のご案内

企業特設講座として1つまたは2つのサブマネジメントについて、合計2時間 今回の講演会の講師がご説明し、意見交換することができます。

企業側は30名までの参加ができます。

参加費：1時間33,000円(税込み)

お申込みは化学工学会安全部会のHPのお問い合わせ先、[scej-minamigawa@ozzio.jp](mailto:scej-minamigawa@ozzio.jp)に直接お申込み。

第24回反好会  
(反応工学部会若手会)講演会

主催 化学工学会反応工学部会・反好会

第24回反好会講演会を化学工学会第88年会の前日に開催致します(東京農工大学小金井キャンパス・オンライン聴講可)。各回、多くの皆様からご好評いただいています。年会への参加如何にかかわらず参加いただけます。ぜひお気軽にお越しください。化学工学系の大学生、高専生含め、多くの方のご参加をお待ちしております。

日時 2023年3月14日(火)15:00~17:40

場所 東京農工大学小金井キャンパス  
オンライン (Zoom)での聴講も可能とします。

## プログラム

- 15:00~15:05 開会挨拶
- 15:05~15:50 「バイオジェット燃料の製造を目指したゼオライト触媒の開発およびその展望」  
東京工業大学 木村健太郎氏
- 15:50~16:35 「メタノール選択透過ゼオライト膜を用いたエステル交換反応の研究」  
産業技術総合研究所 池田 歩氏
- 16:50~17:35 「超高速DSCを用いた高分子の結晶化速度解析」  
京都大学 引間悠太氏
- 17:35~17:40 開会挨拶

参加資格 反応工学にご興味をお持ちの全ての方。学部生・高専生の参加も歓迎致します。

参加費 無料

申込方法 「反好会HP」よりお申し込みください。

<http://www2.scej.org/cre/wakate/index.html>

申込締切 3月4日(土)

## 注意事項

- ★すべての発表の録画、録音および配布資料の無断での転載、複写、第三者への提供を禁止致します。
- ★講演会終了後、武蔵小金井駅付近にて懇親会を開催予定です。
- ★反好会HPからも情報をご覧いただけます。

## 問い合わせ先

反好会代表幹事 百瀬 健(東京大学)  
E-mail : [momo@dpe.mm.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:momo@dpe.mm.t.u-tokyo.ac.jp)

## 地 域 C T



## 九州支部

## 第60回化学関連支部合同九州大会

主催・共催 繊維学会西部支部ほか7化学関連支部

日時 2023年7月1日(土)9:00～17:00(予定)  
会場 北九州国際会議場(北九州市小倉北区浅野3-9-30)

(交通)JR小倉駅より徒歩5分

発表申込期間 3月1日(水)～4月13日(木)

予稿原稿締切 5月11日(木)

発表形式 一般・学生発表はポスター発表のみ。  
ほか依頼講演(8件, 各支部推薦)

発表申込方法 大会HP (<https://godo-kyushu.jp/godo/index.html>) から、指示に従って、以下の申込必要事項をお送り下さい。お申込み後に、受理通知のメールをお送りします。通知が無い場合は、本合同大会事務局(繊維学会西部支部)([godo60sec@gmail.com](mailto:godo60sec@gmail.com))にお問い合わせ下さい。

申込必要事項 1) 発表分野, 2) 発表題目, 3) 発表者所属機関の略称, 4) 発表者氏名(登壇者の前に✓印), 5) 学生の場合は、研究室名, 指導教員の氏名とE-mailアドレスも記入, 6) 発表者の所属学協会(申込中を含む, 複数可), 7) 発表者の学年・職

なお、発表分野は下記のいずれかをご指定下さい。

(1)物理化学, (2)分析化学, (3)無機化学, (4)電気化学, (5)有機化学, (6)高分子・繊維化学, (7)生物化学・農芸化学, (8)化学工学  
予稿原稿(約800字図表を含む)の執筆要項およびプログラムは、大会HP (<https://godo-kyushu.jp/godo/index.html>) で公開します。執筆要項に従って作成し、PDFファイルに変換したものを大会HPに記載の方法で投稿して下さい。

注: 大学院進学などでメールアドレスが変更した場合は、大会HPマイメニューより、必ずご変更下さい。

参加費・発表登録費 聴講のみの参加費は無料。発表登録費は、ポスター発表1件につき3,000円(予稿集1冊含む。当日受付にて、お支払い下さい)。聴講のみの参加者で予稿集をご希望の方は受付にてお求め下さい(1冊:1,500円)。

授賞式 各支部によるポスター賞審査終了後、各支部毎に開催します。なお、懇親会の開催予定はありません。

問合先 〒813-8529 福岡県福岡市東区香住ヶ丘1-1-1 研究A棟503  
第60回化学関連支部合同九州大会実行委員会事務局

(実行委員長: 吉村利夫(福岡女子大学), 代表世話人: 桑原 穰(熊本大学))

E-mail: [godo60sec@gmail.com](mailto:godo60sec@gmail.com)

TEL: 096-342-3662

## 依頼講演会[順不同]

高分子学会九州支部推薦

「シルクフィブロインの生体適合性と医用材料と

しての可能性」

新留琢郎(熊本大学)

繊維学会西部支部推薦

「地域のバイオマスからつくるセルロースナノファイバーの特性と応用」

秀野晃大(愛媛大学)

化学工学会九州支部推薦

「電池分野における計算科学の貢献」

井上 元(九州大学)

日本分析化学会九州支部推薦

「機械学習手法を活用した触媒加速劣化処理の条件推定」

黒木孝行(日揮触媒化成(株))

電気化学会九州支部推薦

「化学センサと物理センサの研究開発から光反応制御へ」

藤尾侑輝(産業技術総合研究所)

有機合成化学協会九州山口支部推薦

「キラルケイ素分子の化学」

井川和宣(熊本大学)

日本化学会九州支部推薦

「金属錯体を基盤とした多重機能性分子性固体の開拓」

石川立太(福岡大学)

日本農芸化学会西日本支部推薦

「マイクロ波化学のサイエンス～食品から触媒まで～」

椿俊太郎(九州大学)

なお新型コロナウイルスの感染状況により、プログラムを変更する場合があります。さらに、オンラインにて開催する場合があります。